

決議（案）

山陰近畿自動車道は、京都縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道、山陰自動車道と連結し、地域間交流の促進や防災ネットワークの構築など、地域経済の発展に重要な幹線道路である。

丹後地域においては、京都縦貫自動車道の全線開通、野田川大宮道路の開通以降、交通量が順調に増加しており、観光客の増加など高速道路の延伸によるストック効果が続いている。また、京都府では、日本海側の拠点港である京都舞鶴港の機能の充実を進めており、丹後地域はもちろん、府全域の活性化を進めているところである。

しかし、現在、大宮峰山道路が、国の直轄権限代行により整備が行われているが、先線の事業化の目途が立っておらず、丹後地域の活性化のためにも、全線早期事業着手が地域住民の願いである。

これらのことから、地域経済の発展、安心・安全の確保のため、国による早期整備を引き続きお願いするところである。

このため、本協議会会員一同は、山陰近畿自動車道の早期完成を目指し、協議会の総意を結集し、次の事項について、強く要望する。

山陰近畿自動車道の

- 一、大宮峰山道路の事業を推進すること
- 一、大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期事業化すること
- 一、豊岡市までの区間について本調査を実施すること

以上、決議とする。

平成三十年六月二十七日

丹後・地域高規格道路推進協議会